

國際倫理規範 (Global Code of Ethics)



We protect and beautify the world™

目次

会長からのメッセージ	1
規範を順守すべき人	2
従業員やリーダーがすべきこと	3
倫理的に意思決定を行う	4
倫理上の懸念事項や違法行為を連絡する	5
私たちの顧客、サプライヤー、ビジネスパートナー	
贈賄と汚職	6
利害の衝突	7
贈答、接待、食事、旅行	8
公正な競争	9
貿易規制への準拠	10
資金洗浄	11
私たちの社会	
持続可能性 - 安全性、環境、コミュニティ	12
慈善団体への寄付	13
政府との協調	14
外部者とのコミュニケーション	15
私たちの従業員	
人権、多様性、包含	16
ハラスメントといじめ	17
データ保護	18
株主	
会社の資産の保護	19
機密および非公開情報	20
知的財産	21
インサイダー取引 - 株の売買	22
事業および財務記録	23
リソース (Resources)	24
倫理ヘルプライン (Ethics Helpline)	25

会長からのメッセージ



私たちの目標は、お客様の最も大切な資産を保護して美しくする世界有数のコーティング会社となることです。私たちはお客様のニーズに真剣に耳を傾け、問題を解決して、安全な作業環境の提供、地域社会への還元、ならびにあらゆる状況でも変わらない誠実さで行動すべきです。

私は当社が長年守ってきた倫理とコンプライアンスを誇りに思います。PPGでは、私たちは自身に極めて高い水準の誠実性、およびプロとしての業務遂行を課しています。事業展開をする場所に関わらず、業務遂行にあたって倫理的で自他を尊重する会社であるという当社の評判は、重大な競争上の利点でもあります。

当社が継続して成長および進化を遂げてゆくなかで、PPGの各従業員の倫理的な行動が、当社の断固たる水準に沿っていることが必要です。新社員もベテランの従業員も同じようにPPGの成功において重大な役割を果たします。1人1人の従業員がPPGの倫理に対する断固たる信念を認識し、理解し、順守することが絶対的に必須です。

本「国際倫理規範 (Global Code of Ethics)」は、倫理的な会社として、当社の核となる価値観と当社が自らに期待することを文書化したものです。これをツールとして用い、正しい意思決定をするだけでなく、倫理上の問題に遭遇した時の解決に役立ててください。「規範」や法に反した行為があるかもしれないと思った時や、どうしてよいか分からない場合、積極的に発言してください。ぜひ皆さんのマネージャー、人事担当者、倫理コンプライアンス責任者、または事業部や現地の法務代表者に連絡をしてください。また、多言語対応のPPG倫理ヘルプライン ([Ethics Helpline](#)) に連絡したり、オンラインの報告ウェブサイトから匿名で懸念事項を報告することも可能です。

お客様、株主、従業員、サプライヤー、隣人の利益のために当社の長期に及ぶ成功を確実なものにすることが私たちの責務であり、私たちが専念することです。PPGの企業文化の要となる高い倫理基準を確実に満たしていくためには、私たち全員の努力が必要なのです。

敬具

Michael H. McGarry
会長兼最高経営責任者

当社の「国際倫理規範 (Global Code of Ethics)」はPPGに雇用されている全ての従業員と取締役に応用されます。

当社は自らの倫理基準や価値観を共有することができるサプライヤー、顧客、流通業者、再販業者、代理人、コンサルタントおよびその他の第三者と事業取引を行いたいと考えています。ビジネスパートナーと業務を行うPPG従業員に推奨されること：

- 当社の本規範をパートナーと共有する。
- 当社の基準と価値観に関して指導や情報を提供する。



取締役や役員の義務の放棄

取締役や執行役員を対象とする「規範」の免責に関して、取締役会や取締役委員会のみが許可することができ、株主への迅速な開示が求められます。取締役や執行役員を対象とする「規範」の免責あるいは例外に関しては、PPGの取締役会や係る委員会の審査を経てから、非常事態にのみ認められます。



十分な知識を備えておくこと

- 当社の「規範」および適用の法務要件を読み、理解し、順守すること。

説明責任を負うこと

- 正しい判断力を駆使すること。
- 倫理上の懸念事項に関するPPGの調査があるときは、完全かつ誠意を持って協力すること。
- 本規範または特定状況における対処法について質問がある場合、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」をご覧ください。
- 非合法や非倫理的な行動をPPG内外の人から要請される場合、必ず拒否するようにしてください。
- 善意から倫理上または法務上の懸念事項を報告する従業員に対する報復行為は一切認めません。報復行為は許容されません。
- リーダーは、重要な改善や懲戒処分につながるような法や本規範の違反があるときは、倫理コンプライアンス部 (Ethics and Compliance Office) に報告するものとします。(本規範の「[リソース \(Resources\)](#)」セクションをご覧ください)



尊重される振る舞い

- 自分の言動が倫理の模範となるようにしましょう。正しい方法を推し進め、真実の徹底周知に努めましょう。
- 業務取引のあらゆる部分にて、誠実さと高い倫理基準を示しましょう。

敬意を持って行動しましょう。

- 各従業員が気兼ねなく懸念事項を提起できる、開放的な環境を創造しましょう。
- リーダーには、あらゆる適切な機会にて、真摯で確信を持った倫理と順守の重要性を周知させることが期待されます。

勇気を持つ

- 法や本規範の違反の可能性がある場合は、速やかに報告しましょう。
- リーダーには、しかるべき連絡経路で、従業員が報告した懸念事項を上申することが求められます。
- リーダーには、適切なPPG 経営陣と相談後、必要に応じてしかるべき改善措置を講じることが期待されます。



自らの倫理責任を果たさない従業員とリーダーには雇用解雇を含めた懲戒処分が科されます。

当社の成功は**私たちの価値観**合致する意思決定を下すみなさんの能力にかかっています。状況に関係なく、何をするにおいても誠実であることに徹底しましょう。

自身の行動をよく考え、指示を仰ぎましょう。

どうして良いか分からない場合、これらのことを自問してください。

- ✓ 合法であるか?
- ✓ 「規範」に適合するか?
- ✓ PPGの価値観を反映するか?
- ✓ 自分自身やPPGのことを十分に考慮したものか?
- ✓ ニュースの見出しに出ても全く問題がないか?

こうした質問のいずれかの回答が「いいえ」なら、実行しないことです。確信が持てない場合は相談しましょう。本規範の「[懸念の提起方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」で助けの求め方を確認してください。



私たち全員に委ねられています!

当社の価値観

当社の基盤となるのは、高い道德基準および誠実さへのゆるぎない取り組みです。妥協のない道徳的な手法で、組織の全レベルに渡って当社の戦略を実施します。

お客様に仕えること

私たちはお客様にサービスを提供するビジネスです。当社は市場に焦点を当てて、製品とサービスでお客様のニーズを満足させることに専念します。

従業員の尊厳、権利、および貢献を尊重する

多様性を重んじ、チームワークを促進し、パフォーマンスが報われるような、安全で健康的な、ハラスメントのない職場を運営します。継続的な学習を通じて人材を開発し、皆が意見を述べ、それが尊重される環境を作ります。

社会の関心事および必要事項を認識する

PPGは、会社を運営する国際的な環境を保全および保護する責任を認識しています。そのために、健全な環境で、健康で安全な製品管理を行う事業を運営し、それと同時に、エネルギー消費を減らし、環境への影響を最小限にする製品ソリューションを提供します。公的に意思疎通を図り、政府機関のプロセスに参加し、地域社会を支援します。

サプライチェーンとの関係の大切さ

お客様の要望にお応えするために、サプライヤーの能力を引き出して、相互協力、継続的な改善、および責任を共有することによって関係を築きます。

株主への責任

当社は会社としての仕える心を持つ、PPGの所有者たちに収益を還元することに専念する実績重視の会社です。

倫理上の懸念事項や違法行為を連絡する

倫理や法的コンプライアンスに関する懸念を提起することはいつでも容易なわけではありませんが、それが正しいことであり、同僚を悪影響から守ることができるのです。懸念の提起にあたって、違反が確実かを確かめる必要はありません。



- Q.** 倫理規範に違反するような同僚の行動を目撃しました。ただ、本当に違反かどうか確信が持てません。どうすれば良いでしょうか？
- A.** 倫理上の違反があったかどうか疑わしい場合でも、報告するのが賢明です。倫理上の問題を報告するのは大半の従業員にとって容易ではありません。ただし、こうした問題に対処するのは当社が成功していくためにも不可欠であり、それが正しい行動です。こうした問題の提起に関するあらゆる懸念に対応いたしますので、PPGを出るだけ倫理的な環境とすべく努力していきましょう。

- Q.** 上司に詐欺や不正についての懸念を報告しました。懸念を報告して以来、上司はある会議から私を外すようになりました。これは報復行為でしょうか？
- A.** 問題の可能性があることを報告した後に、あなたに対する対応が明らかに変化したので、報復行為とみなされる場合があります。問題の疑いの報告以降に明らかに対応が違うと感じる場合、人事責任者に報告するか、倫理コンプライアンス部門 (Ethics and Compliance Office) (本規範の「[リソース \(Resources\)](#)」セクション参照) に連絡してください。

懸念を報告する方法 (How to Raise a Concern)

当社の倫理水準が順守されていないことに気付いた際、善意で懸念を速やかに報告することが期待されます。

特に、大きな改善や懲戒処分につながるような法や本規範への違反は、全て倫理コンプライアンス部門 (Ethics and Compliance Office) に報告されるべきです。懸念事項を報告するには、いくつかの方法があります。問題の可能性がある事柄について誰かと話したり、書面にて報告することができます。懸念を次のうちの誰かに報告してください。

- あなたの上司、またはその直属の管理者
- あなたの人事部門の責任者
- 当社の倫理コンプライアンス部門 (Ethics and Compliance Office) (本規範の「[リソース \(Resources\)](#)」セクションをご覧ください)
- PPG の最高コンプライアンス責任者または該当の地域コンプライアンス責任者 - 当社のコンプライアンス専門職員はみなさんからの報告を機密に取り扱い、公正に対処および適切に処理するためにフォローアップするよう訓練を受けています。
- 当社の「[PPG 倫理ヘルプライン \(Ethics Helpline\)](#)」 - PPGに代わって第三者が運営する通話料無料、多言語対応およびオンラインのウェブ報告機能が、みなさんの懸念や報告を受け、それらの情報を機密に取り扱います。

- あなたのPPGの現場または事業ユニットの法律顧問

意図的に、あるいは知っていて虚偽の報告を行うのは禁止されており、非合法となりますのでご注意ください。

報告された懸念事項の取り扱い (How We Handle Reported Concerns)

当社は1つ1つの懸念事項を細心の注意を払って公正に検証します。当社は情報の機密性を尊重し、希望であれば匿名のまま対応します。ただし、身元を明らかにしていただくと、フォローアップやフィードバックを提供することができます。みなさんの身元と情報は知る必要がある場合にのみ共有されます。

直接か間接かに関わらず、善意で報告を行う人に対する報復行為は解雇を含めた処分の対象となります。

私たちの基準

当社は事業取引に関連する腐敗を一切容認しません。政府役人、政府組織、あるいは民間業者に、贈賄や見返りの申出、供与、受領の禁止。

Q. 見返りとは？

A. 見返りとは特定の贈賄形態であり、事業上の取り決めにおける恩恵のお返しとして不正目的で誰かしらに金品（金銭、品物、サービス）を供与することで、通常は事業取引の一環として予めお膳立てされています。事例：

- (1) PPG 代理人がサービスを契約した従業員に対し、PPG から受領した手数料の一部を払い戻します。
- (2) 特定ベンダーがPPG のビジネスを確保できるのを確約する見返りとして、PPG の購買担当の従業員が個人用途としてそのベンダーからシーズンのスポーツ観戦券を受領します。

Q. 現地政府機関の検査官が環境コンプライアンス目的で私たちの施設を検証しています。検査官は施設が要件を満たしているのを認証する見返りとして別途、現金の支払いを要求しました。現金の支払いを行うのは正しいことですか？

A. いいえ、正しいことではありません。環境コンプライアンス認証、政府認証や許認可の取得目的で検査官に支払を行うのは腐敗防止法違反に相当します。PPG のために恩恵を確約してくれるよう人に影響を及ぼす目的で金品を申し出たり提供したりするのは違法行為です。

よくある質問

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

大半の人は贈賄と聞いてビジネス獲得のための個人への支払と思いがちですが、違法な贈賄には許可、免許、認証、関税の取り計らい、その他のビジネス、個人的な利得など、あらゆる金品の提供が含まれます。金品には現金、贈答品、食事、接待、ビジネスの機会、PPG製品、雇用の申出等が含まれます。金銭においては境がなく、どんな金額でも贈賄であると見なされる可能性があります。

腐敗防止の法規制の違反では、PPGと関与する個人を含む両方に、多額の刑事と民事上の罰金が科せられる場合があります。

みなさんの役割

- 贈賄や腐敗にあたっての「私たちの基準」を理解して厳守すること。
- ビジネス・コンプライアンスの手順に従い、PPGを代表する第三者の選択は慎重に行い、当社の「腐敗防止方針 (Anti-Corruption Policy)」や適用法を順守するように要求してください。
- 追加情報については、[「グローバル腐敗防止方針 \(Global Anti-Corruption Policy\)」](#)をご覧ください。
- 自身の職務に関わる腐敗防止方針については現地または事業部の法律顧問にお尋ねください。
- 質問や懸念があれば、本規範の[「懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)」](#)をご覧ください。

PPG のビジネス促進にあたって、不当な支払を決して行わないこと。

私たちの基準

あなたの個人的な利益がPPGの最善の利益のために行うあなたの責務に影響を及ぼす、もしくは影響を及ぼすと思われる場合には、常に利益相反が存在します。実際、または利益相反の疑いが生じるような状況を生み出さないようにしましょう。

利益相反は必ずしもPPG方針の違反になるとは限りませんが、速やかに利益相反を開示しないのは常に違反です。何も間違ったことが意図されていない時であっても、利益相反が生じるとマイナスの影響が及びます。

Q. 私はPPGの上司と親類関係にある契約社員と一緒に働いています。上司はその契約社員の請求書とタイムシートを承認します。これは「利益相反」に相当しますか？

A. この状況は「利益相反」と見なされ、上司はPPGの経営陣にそのことを報告する必要があります。契約社員が優遇され、他には不公平ともいえるような報酬を得る、あるいはそのように見える恐れがあります。懸念を上司のマネージャー、現場の人事責任者、または倫理コンプライアンス部門（Ethics and Compliance Office）に報告してください。（本規範の「[リソース \(Resources\)](#)」セクション参照）

Q. 私の兄はITプロジェクトの件でPPGに入札を申請した会社を所有しています。私はこの案件についてどのサプライヤーを選出するかという意思決定には関与しません。私はこのことを開示すべきですか？

A. はい、このことは潜在的に利益相反があることなので、開示すべきです。良好で効果的なサプライヤー関係は当社のビジネスにとって不可欠であり、当社はサプライヤー選定にあたって透明性を実践することでそれを実証します。あなたがサプライヤーとしてお兄さんの会社を選択する立場にはないと、このことを開示しないと、個人の利益がPPGの最善の利益に相反し、誠実さと透明性に欠けているように見える可能性があります。こうした利益相反を管理するのは容易かもしれませんが、それでも開示するのが賢明です。

誰しもが知っておくべきこと（What Everyone Should Know）

利益相反はPPGの財務面の成功における相互利益を毀損するだけでなく、PPGの評判、あるいはあなた自身の評判に悪影響を及ぼす恐れがあります。

PPGのリソースを個人の利益目的で使用するのには利益相反の一種であり、禁じられています。利益相反と考えられるようなその他の事例：

- あなたや個人的に近い関係にある人が、PPGが関与する取引から利益を享受すること
- PPGの非公開情報を共有して、PPG社外の人へ恩恵を供与すること
- PPGと競合するビジネスや組織へのサービス提供
- 近親者や親密な関係の知り合いが、競合他社で働いていること
- PPGの最善利益を毀損するような職場における個人関係を有すること
- 自身の職務パフォーマンスに影響を及ぼすような二次的な雇用に関与すること
- 自身の職務パフォーマンスに影響を及ぼすような個人活動を、職務時間中に行うこと

みなさんの役割

- 潜在的な利益相反を認識できること
- 潜在的な利益相反を上司やその他の適切なPPGリソースに開示すること場合によっては、開示をすればそれだけでよいこともあります。必要に応じ、上司やその他の人が、相反の管理をし、措置が必要かどうかを判断します。
- 質問や懸念があれば、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」をご覧ください。

自分自身の個人的な損得ではなく、必ずPPGにとって何が最善であるかという観点でビジネス上の意思決定を行ってください。

私たちの基準

私たちは以下に該当するような、贈答、接待、食事、旅行、その他の恩恵の申出、供与、受領、勧誘を行うことはできません。

- PPGに好意を持ってもらうため、などというように正当な事業目的を有しない
- 受領者に不当な影響を及ぼすことを意図するものと合理的に解釈しうる
- 法もしくは他の当事者の雇用主の方針に違反する
- 種別、価値、頻度のいずれかの点で、相手の事業における地位に不適切である
- 見返りが期待されるもの

Q. 私の顧客は新しい店舗開店の開店式の花かご代金としてUS \$100相当額の現金を要求してきました。顧客が私に花かご購入の領収書を供与する場合、現金を払うのには問題がありませんか？

A. 顧客への現金の支払いには目的によらず許可されていません。顧客経由ではなくむしろ、直接花屋から花かごを購入すべきで、事前にあなたの責任者から承認を得るべきです。書面による新店舗開店への招待状やその他の情報入手し、贈答にあたっての事前承認申請を証拠文書としましょう。

Q. 私は複数案件の入札にあたって、手伝ってくれた顧客の従業員2人に対して贈答をしたいと思います。これは許されますか？

A. 従業員は、受領者に不当な影響を及ぼすことを企図しているものと合理的に解釈されうるような贈答を供与することはできません。案件が入札中であるなら、贈答を供与することは不当、あるいは誤った印象を与える可能性があります。渡すべきではありません。

よくある質問

誰しもが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

- 「私たちの基準」に適合しないような贈答や招待の申出を受けた場合、丁寧に辞退すべきです。贈答を辞退するのは文化的に受け入れられない、あるいは事業関係を毀損する可能性がある場合は、贈答を受領し、慈善団体に寄付してもらうよう、PPGの内部監査人に依頼することができます。さらに、贈答の適正市場価格をPPGに支払うことができ、この場合、金額が慈善活動に寄付されます。
- 「[管理者マニュアル \(Controller's Manual\)](#)」およびその他の地域の方針では、贈答の供与に際して事前承認が義務付けられています。贈答、接待、金品の供与に際しては上司に相談してください。
- 贈答、接待、金品は受領する側の立場から合法的で適切であるべきで、PPGの会計帳簿に正確に記録されるものとします。該当の地域の方針や手順を参照してください。

みなさんの役割

- 現金や現金相当物の供与や受領をしないよう注意すること。現金相当物とは即時に現金化可能なものことで、現金の前貸し、商品券、バウチャー、証券、融資等を含みます。
- 地域の方針に準じて事前承認を取得していない限り、政府役人や政府職員に対して贈答、接待、金品の供与は控えてください。米国では、米国公共セクター（政府）職員に対する贈答、接待、食事、旅行に関するPPGの方針を参照してください。
- 他人を利用する、当惑させる、あるいは体裁を貶める、もしくは不適切な、または当社のイメージに悪影響を与えるような一切の接待の提案やそれらへの関与をしないこと。
- 質問や懸念があれば、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」をご覧ください。

受領者に不当な影響を及ぼすような金品の供与や受領があったと思われるような印象を与えないようにしてください。

私たちの基準

当社は国際市場における公正でオープンな競争に真摯に取り組んでいます。当社は競合他社との反競争的な理解や合意を伴うことなく、精力的に、積極的に、そして公正に競争を図るべきです。

PPG のために働く、または PPG を代表する人は誰しも、米国の反トラスト法、ならびに PPG が事業を行う各国の競争法などあらゆる適用の競争法規制を順守すべきです。

誰しもが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

競合他社の戦略や市況についての情報の収集と使用は許容されており、むしろ望ましいことですが、正当な手段で収集することが条件です。競合他社と営利的に機密の情報を共有するのは許可されていません。競合他社と連絡をとる目的で、顧客、サプライヤーまたはその他の第三者を利用しないこと。

取引や専門協会の活動など、競合他社との特定の協議は合法的で有益な事業目的に沿った活動もありますが、競合他社と接触するためにこういった活動等を利用するのは法や PPG 方針に反しています。

競合他社との接触は、不当な合意や理解があるとの認識を生む可能性があるため注意してください。

みなさんの役割

- 顧客に対して申し出される価格や条件に準じての他社との談合、市場や顧客の割当にあたっての競合他社との合意、あるいは入札プロセスの操作をすることは禁止されています。
- 競合他社と製品やサービスの製造、販売、流通に関する話し合いをしたり、公式の合意や非公式の理解を締結することは禁止されています。このことには価格、賃金、費用、利益、販売条件、信用協定、市場シェア、生産量、販売地域、製品、サービス、入札の戦略、顧客割当、流通手段、第三者との交渉拒否（ボイコット）といった事項が含まれます。独占供給/販売契約、地域、顧客グループ取り決め等の顧客やサプライヤーとの特定の取り決めを審査するときは、該当の地域や事業部の法律顧問と連携するように心掛けてください。
- 入札の有無や方法についての第三者と合意することや、それを提案することは禁止されています。目的がビジネス競争および獲得以外では入札を申請してはなりません。
- 競合者間で不正な合意や情報共有が協議されているような状況からは直ぐに席を外し、該当の PPG 地域や事業部の法律顧問に連絡してください。取引または専門協会に参加している際に、このようなことが生じることがあります。詳細は、[「取引および専門協会ガイドライン \(Trade and Professional Association Guidance\)」](#)をご覧ください。
- 詳細は、[「反トラスト/競争法 \(Antitrust/Competition Law\)」ウェブサイト](#)をご覧ください。該当の PPG 地域または事業部の法律顧問に指示を仰いでください。
- 競合他社との接触に関する質問や懸念があれば、本規範の[「懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)」](#)をご覧ください。

顧客から市場競争の利点を奪うような競合他社との合意は禁止されています。

私たちの基準

従業員には、事業を行う国における全ての適用される貿易コンプライアンス法、規制、PPG 方針や手順への準拠が求められます。これには輸出入、再輸出、みなし輸出活動の規制が含まれます。

- Q.** 私の顧客は輸入製品に係る租税の支払いを拒み、出荷の価額を\$0 と記載するよう求めてきました。文書を書き換えるべきでしょうか？
- A.** いいえ、輸出入品目には全て、関税課税価格として適正な市場価額を記述することが求められています。

- Q.** 私は、ビジネスが要請する最終使用情報の供与を顧客から受け取っていないにもかかわらず、輸出注文を発送するよう求められています。これは認められるのでしょうか？
- A.** いいえ。最終使用情報が要求される際、品目の輸出に先立って取得することが必須です。

よくある質問

誰しもが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

当社は、輸入者として、品目を正確に分類、査定し、その他の情報を供与し、関税当局が責務を遂行できるようにします。

当社は、輸出者として、国家の安全保障と外国政策のために、特定の国々への品目や情報の移動を制限する要件を順守する必要があります。一部事例において、例えば、禁輸および制裁国や人への輸出等、輸出が一切認められていない場合があります。それ以外では、輸出にあたって、米国または地域政府による事前承認が必要となることがあります。

さらに、特定の法では、不買活動を支援することが禁じられています。そうした法がない国でも、PPG の方針では、不買活動の支援が禁じられています。

輸出規制に違反した場合、民事および刑事で会社と従業員両方が厳しい罰則の対象になる場合があります、深刻な問題となります。

みなさんの役割

- 輸出入取引に関与する従業員は全てあらゆる努力を講じ、許可されない、あるいは禁止されている輸出を未然に防ぐため、関連の業務手順、法務要件、PPG 方針を理解し、順守する必要があります。
- 質問がある場合は、該当の地域「輸入サービス (Import Services)」チームまたは「輸出規制調整者 (Export Control Coordinator)」に確認してください。「ECC 連絡リスト (Contact List)」は、[「国際/米国輸出コンプライアンス \(Global / U.S. Export Compliance\)」ウェブサイト](#)をご確認ください。

常時、輸出する品目、目的先、エンドユーザー、最終使用について把握してください。完全で正確な輸出入情報を関税当局に供与してください。

私たちの基準

資金洗浄は違法な資金の隠蔽や、そうした資金の合法化を目的とする行為です。資金洗浄は固く禁じられています。当社は適用の反資金洗浄、腐敗防止、反テロ出資など、法規制の順守に努めています。

当社は合法的な資金源にて正当な事業活動に従事する顧客以外とは取引を行いません。

Q. 資金洗浄の可能性のある兆候とは？

A. 資金洗浄活動があると考えられる兆候の事例：

- 顧客が偽の情報や匿名で提供する情報で口座開設を試みたり、こちらが要求する情報を提出するのを拒否する。
- 契約で決められた以外の通貨での支払いや払い込みの要請をしたり、契約以上の金額の支払い要請がある。
- 顧客の分野や事業に適しない、異常な注文、購買、支払。
- 顧客の支払いが、未知や匿名の人、あるいは通常のビジネス口座以外から行われる。
- 管轄権に報告をする要件を回避するように構造化された取引。
- 製品や商品券の大量購入、または反復的な現金支払いといった通常ではない取引パターン。

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

現地の国の法では、現金売上などの取引を政府に報告することが義務付けられていることがあります。

みなさんの役割

- PPG が事業を行う人、ならびに彼らのビジネス慣行や活動の合法性を認識してください。
- 潜在的な資金洗浄、テロリスト資金調達、その他の違法活動の兆候を見逃さないようにしてください。疑わしいことをがあったら、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」をご覧ください。



ビジネスを行う相手を常に認識して、疑わしい、もしくは違法の活動は報告してください。

持続可能性 - 安全性、環境、コミュニティー

私たちの基準

当社は、全従業員とその家族に対して安全面の促進に関わってもらい、健全であることを推進し、環境の保護、および事業展開を行う地域社会の支援を通じて持続的な価値を実現することに取り組んでいます。

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

PPG は規制への適合、安全と衛生の推進、および環境フットプリントの削減を目的に、国際規模で用いられる「環境、衛生、安全性管理システム (Environment, Health, and Safety Management System)」を採用しています。

PPG の「持続可能性の報告書 (Sustainability Report)」を以下でお読みください：

sustainability.ppg.com/Home.aspx

みなさんの役割

- 環境、衛生、安全性の目標達成にあたっての各自の責任の理解と順守。
- アルコールや薬物摂取により注意力が欠けたりせず、よく休息のとれた状態で出社し、職務責任を安全に遂行すること。
- 従業員や事業パートナーに対する職場での暴力行為や脅迫、威嚇、威圧的な態度などがあった場合は、上司、人事、EHS 代表者に連絡すること。
- あなた自身や同僚、または環境に危害が及ぶような事を発見した時は発言し、他の人も同じようにするよう奨励する。
- 従業員は、職場と自宅での安全の改善方法を持続的に学習することが推奨されます。

安全への取り組みは自分から始まり、そして日々、みなさん各自を起点とします。

慈善団体への寄付

私たちの基準

PPG および PPG Foundation は、教育、コミュニティの持続可能性、従業員の関わり、という3つの優先事項において、認められた慈善団体への経済的な支援をし、世界中の PPG コミュニティーにいろどりと明るさをもたらしています。ただし、特定の事例では、慈善活動への寄付が倫理原則や腐敗防止法規制への違反となる場合があります。私たちは、当社の倫理および法務要件を厳守する組織による適切な目的による活動以外には支援を提供していません。

- Q.** 見込客は慈善団体の役員で私に寄付を求めます。私が寄付をして、支出報告において係る出費の払い戻しを申請することはできますか？
- A.** いいえ。慈善団体への寄付は、PPGの製品を購入するよう見込客に影響を及ぼす目的であると認識されうることから、寄付をすべきではありません。

よくある質問

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

慈善団体への寄付が不当な目的に使われたり、政府公務員または業務上のパートナーの直接依頼、提案あるいは奨励のもとで行われる場合、危険が生じます。こうした場合の寄付は間接的な賄賂と考えられる可能性があり、それによって契約、ビジネス、政府の承認（許認可、税や関税に関する優遇）を得る、保持する、または不適切な方法でビジネスで有利になろうとするための行為と見られます。

みなさんの役割

- 「国際倫理コンプライアンス (Global Ethics and Compliance)」ウェブサイト「[国際慈善団体への寄付 \(Global Charitable Contributions\)](#)」セクションにて、PPG を代表しての慈善団体に寄付を行うときのガイダンスを予め確認してください。
- 予定されている慈善団体への寄付に関する質問や懸念があれば、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」をご覧ください。
- コミュニティーと関わる活動に参加する従業員は「従業員ポータル (Employee Portal)」に記載されている全ての PPG プログラム・ガイドラインに従ってください：ppgcommunities.com
- 資格ある団体には、ppgcommunities.comの「支援を申請する (Apply for Support)」セクションを案内してください。

当社の倫理や法定義務に沿った、認定された団体を支援すること。

私たちの基準

当社は政府との事業遂行にあたって最高の倫理基準を順守し、常時、正直かつ正確に活動します。当社は、政府、係る職員および役人と関与する際、適用されるあらゆる法規制の順守に努めています。

Q. 「政府職員や役人」と見なされる人とは？

A. 「政府職員」または「政府役人」には、あらゆる国の、連邦、国家、州/郡、自治体職員が含まれます。

- 軍に雇用された軍人および民間人
- 公共または政府機関、省庁、部局の職員
- 州所有の、ならびに州の管轄下にある法人や組織の職員で、これには医療機関、石油会社、公益事業、鉄道、航空、国公立大学、中央銀行の職員が含まれる場合があります
- 政治事務所の候補者や政党の職員
- 公共の国際組織（例：国連、赤十字、世界銀行）の職員
- 政府を代表して公式な権能で活動する人

質問があれば、該当地域のPPG、または事業部の法律顧問にお尋ねください。

Q. 化学兵器の検査担当官が当社の製造工場にやって来ました。親善の証として検査担当官に絵画ケースを贈呈しても良いでしょうか？

A. いいえ。該当地域の法律顧問や「政府業務」部門の事前承認なしに、政府役人に金品を供与してはなりません。こうした状況下で検査担当官に製品や金品を供与すると、担当官の施設審査に影響を及ぼす目的の贈賄であると見なされる可能性があります。加えて、国によっては、検査担当官に製品や金品を供与するのは違法行為となります。

よくある質問

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

本規範ならびにPPGに適用される法規制は、ビジネスの獲得や保持またはその他の事業上の不当な利得の入手を目的とする、政府職人や役人への贈賄、支払、金品の供与や申出を禁じています。PPGが政府との契約を試みた、或いは試みている管轄地域においては、州や地域の役人への選挙献金も禁じられています。

国によっては、政治献金は一切禁止されている場合があります。政治献金を行う場合は必ず事前に該当地域の法律顧問に相談してください。

みなさんの職務は個人の政治的見解や、個人として政治献金を行うことに影響をあたえるものではありません。

みなさんの役割

- 政府とのビジネスの機会を模索するにあたっては、事前に該当地域のPPG、あるいは事業部の法律顧問にお尋ねください。
- PPGの方針、または地域の法規制に適合しないような政府職員への金品の申出や供与の禁止。詳細は、本規範の「[贈賄と腐敗 \(Bribery and Corruption\)](#)」セクションをご覧ください。
- 該当地域の最上級管理者による承諾、およびPPGの「政府業務」の最高業務責任者への通知なしに、あなたの業務時間を含めた会社資産の寄付、PPGの施設や装置の使用や、政治家候補や政治活動委員会へ会社資金を寄付するようなことはしないでください。
- PPGと関係ある寄付の計画がある場合、「政府業務」部門に通知して、米国や地域の法に違反しないように確認してください。
- あなたが公職に立候補する計画があったり、公職を引き受ける予定がある場合、適用法に準じ、現地のPPGまたは事業部の法律顧問から事前承諾を得てください。
- 質問や懸念があれば、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」をご覧ください。

政府役人や政府職員に対する不正な支払を行わないこと。

外部者とのコミュニケーション

私たちの基準

当社はメディアを通して広報活動を行う際、会社の倫理および現行の戦略、方針、関わりを反映する一貫したメッセージを掲げており、政府、証券取引、その他の開示要件を順守します。

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

PPGとその従業員は、営利目的か否かによらず、ビジネスによる正当な理由なしに、いかなる製品や、サービスや、会社を正式に保証、推薦したりしません。

PPGの財務成果の報告の明確性を保つために、通常の投資家が会社の株式へ対する見方を変えるような内容の発表は、PPGの四半期の収益を発表する週には行いません。

みなさんがソーシャルメディアに投稿するPPGの仕事関連の話題は、あなたが知らないうちに他の人に再公開される場合があります。何かを投稿する際は、公になるものと考えてください。公になったとき、あなた自身や、PPG、または他の人の恥となったり、害を与えたりするようなものは投稿しないでください。

みなさんの役割

- 常に会社または事業部の広報部門代表者に相談したうえでPPGを代表して外部メディアに対応してください。
- PPGの機器を使ってビジネス目的でソーシャルメディアを利用する際は、ソーシャルメディアの個人使用に関するPPG方針を順守してください。詳細は、「[PPGの外部広報に関する方針 \(External Communication Policy\)](#)」および「[ソーシャルメディア方針 \(Social Media Policy\)](#)」をご覧ください。



メディアによる広報活動を行う際は、PPG広報担当者にも関わってもらいましょう。

私たちの基準

PPG とその従業員の関係は相互尊重、相互信頼、共通の目標に基づいたものとし、PPG の各リーダーは私たちの共通の絆を強化して、それらが日々の活動に及ぶ影響を拡大させる責任があります。

当社は経験、観点、背景、人種、年齢、国籍、宗教、性別、性的志向、性的認識やその表現、文化、興味、地理、スタイルにおける多様性を尊重し、誰にでも成功の機会があるような協調的な環境を築くことに努めています。

当社は全ての人々の尊厳と人権を尊重し、結社の自由、プライバシー、団体交渉、移住、作業時間、賃金、労働時間に係るあらゆる法、ならびに強要、強制および児童労働、人身売買、雇用差別を禁じる法を順守します。

当社は職務資格や利点を基に雇用決定を下し、これには学歴、経験、技能、能力、業績が含まれます。

当社は平等な雇用機会を与え、適用法によって保護されている身分に基づいて個人を差別しないものとし、

みなさんの役割

- 信頼と協調性のある環境を築き、発言し、貢献し、現状体制を変えることに挑戦し、多様な背景の人々との協業を目指しましょう。
- 上司と関わり合って業績、意見、期待される習得度の把握に努めましょう。
- 積極的に偏見、虐待、差別の撤廃に努めましょう。
- あらゆるグループの人々が関わり合う組織を築くことが、マネージャーと上司には期待され、人を励まし、感謝し、組織のあらゆるレベルからの意見が寄せられることを奨励し、[私たちの価値観](#)に沿った仕事や振る舞いから生じる成果を賞することが期待されます。
- 該当地域の人事ウェブページにて、地域の人事方針に関する情報を確認してください。
- PPG の慣行と地域法や人事方針に相違がある場合、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」を確認してください。

Q. 多様性や包含とは？

A. 多様性とはグループや組織内に多様なプロフィール、文化、背景、経験、観点を持った人々が混在していることを指します。包含とは多様な従業員層を一つの協調的な業務空間で協力させるビジネス環境を指します。研究によると、多様性と包括的な環境は、革新性を高め、よりすぐれた財務業績や、有能な従業員の保持を促進することが明らかになっています。

Q. 私は人種を理由に昇進が認められなかったと思っています。どうすべきでしょうか？

A. 人種やその他の法的に保護されるべき特質を理由に差別されていると感じる場合、人事部門の代表者に通知するか、あるいは「倫理コンプライアンス室 (Ethics and Compliance Office) (本規範の「[リソース \(Resources\)](#)」セクション参照) に連絡して懸念を報告してください。

共通の目標に達するために、相互に関わり合い、各自の観点を引き出すことによって、私たちは最高の働きをすることができます。

ハラスメントといじめ

私たちの基準

当社はハラスメントやいじめのない職場とすることに努めています。

- Q.** 同僚が私を侮辱する内容のEメールを拡散させました。どうすべきでしょうか？
- A.** その同僚にこうした種のメール送信を止めるよう言ってください。その同僚に直接言うのに抵抗があれば、あるいは同僚がそうした種のメール送信を止めない場合、直属の上司、人事部代表者、または「倫理コンプライアンス室 (Ethics and Compliance Office) (本規範の「リソース (Resources)」セクション参照) に通知してください。
- Q.** 私の上司は普段から他の人の前で私や同僚を怒声や屈辱的な言葉で罵ります。これはいじめに相当しますか？
- A.** あなたの職務遂行能力に悪影響を及ぼし、屈辱や不快な思いにさせるのであれば、その上司の行動はいじめに相当します。この場合、上級経営陣、現地の人材部門の代表者、あるいは「倫理コンプライアンス室 (Ethics and Compliance Office)」に報告してください。

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

ハラスメントは、望ましくない攻撃的な言葉や、言葉以外の表現、もしくは身体的な行為により、敵意や威嚇を感じる環境を作り、性別、性的志向、性の認識や表現、人種、年齢、国籍、宗教、その他の法理で保護されるべき身分を攻撃することを指します。

いじめとは、人の業務を阻害したり、常識的な人が攻撃的、脅威的、屈辱的であると思うような、言葉や身体的な虐待や、悪意のある行為を繰り返すことを指します。

こうした用語は地域法下では具体的な意味がある場合があります。質問があれば、該当地域の人事代表者または現地PPG、もしくは部門の法律顧問に確認してください。

みなさんの役割

- 職場のハラスメントといじめの定義ならびに対処と報告の方法を把握すること。
- 相互尊重ならびにハラスメントやいじめのない職務関係を促進するような職務環境を創造するという個々の責任を負うこと。
- 他人に対して破壊的または攻撃的と思われるような方法で、PPGの電子機器や情報システムを使わないこと。
- 質問や懸念があれば、本規範の「[懸念を報告する方法 \(How to Raise a Concern\)](#)」をご覧ください。

全従業員に礼儀正しく、尊厳、尊敬を持って接すること。



私たちの基準

当社は個人のプライバシーの保護権利を尊重し、個人の情報の責任ある収集、取り扱い、審査、保護に努め、事業展開する米国内外でそれぞれ適用されるプライバシーと情報セキュリティに関する要件や法の順守に取り組んでいます。

当社は法定要件を順守し、高い倫理基準を掲げることから従業員のプライバシーの尊重に努めています。

Q. 「個人情報」とは？

A. 個人情報とは個人を識別したり、連絡したり、居場所を見つけるために使われるあらゆる情報を指します。通常は機密として扱われ、許可しない人への開示リスクや、故意や違法に破壊されたり、改ざん、アクセスされないよう、常時保護されています。

Q. PPG が供与する装置やシステム上にて送信されたメッセージの内容にアクセスしたり、それを開示する、合法的なビジネス理由とは？

A. 合法的なビジネス理由には、本規範またはPPG 方針への実際の違反や、その疑いや申し立てによる違反の調査、本規範内で指摘されているものを含めた関連の法規制の順守の評価、PPG、その従業員、顧客、サプライヤー、ビジネスパートナーの保護目的で通信の監視が必要で適切な場合が含まれます。

よくある質問

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

当社は合法的な事業の目的、ならびに適用法に準じて知る必要のある人物に対してのみ個人情報を供与します。

PPG が従業員に供与する電子システムと機器を用いて送受信および作製される全てのメッセージと通信は、会社の記録とみなされます。

よって、各国の現地のPPG社は、合法的な事業上の理由があり、かつ、現地のデータ・プライバシーや雇用法にて許可される場合、そうしたメッセージ、通信、記録へアクセスし、監視、審査を行うことができます。

みなさんの役割

- 職務の一環として個人情報にアクセスする場合、そうしたデータをPPGの方針や米国内外の法や地域要件に準じて管理すること。
- 合法的なビジネス目的で、個人情報へのアクセスを必要とするPPGの従業員に限定すること。
- PPG のあらゆる「情報技術」セキュリティ方針ならびにPPGの「[機密データ取り扱い方針](#)」を認識して順守すること。

法やPPG方針をもって個人のプライバシー権利の尊重と調和を図りましょう。

会社の資産の保護

私たちの基準

当社のものを適切に管理することは、株主に対する重大な責任の1つです。私たちが会社の資産を保護し、それらを会社の業務目的のみに使用することは、従業員の責任です。

- Q. 出張のとき、食事の支払いを現金でしましたが、領収証を紛失しました。食費の申請時にほぼ同額の別の領収証を提出しても構いませんか？
- A. いいえ。出費額が同額またはほぼ同額だとしても、食費として別の領収証を使用してはいけません。経費報告書と一緒に提出する領収証は全て、経費報告書に明記されている実際の取引額を反映するものとします。

該当の領収証を紛失した旨のコメントを経費報告書に記載して、その他の適切な説明を記してください。領収証を頻繁に紛失すると、特定の経費について承認が下りなくなる可能性があります。

- Q. 個人の目的で、仕様外のペイントや未使用の装置を取得することはできますか？
- A. いいえ、最初に上司に許可を得ずにそうすることはできません。PPGの資産が会社の利益になる目的で使用されるように努めるのは各従業員の責任です。

よくある質問

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

会社の資産は有形、および無形のものもあります。有形の資産としては金銭、不動産、施設、製品、装置、通信システムが挙げられます。無形資産には作業の成果、知的財産、情報システムデータ、非公開情報が含まれます。

当社はPPGが事業運営を行う各国で適用されるプライバシー法を順守します。しかしながら、適用法に準じて、「会社」の利害の保護のために必要な場合は、PPGの情報や資産を監視、制御、開示する権利を留保し、それは当社のネットワークにアクセスできる個人所有の装置にも及びます。

PPG資産を使った詐欺、窃盗、横領、流用は違法であり、倫理にも反しています。

当社は「会社」資産を窃盗、紛失、悪用から守り、正確に説明責任を果たすうえで内部統制基準と慣行を策定しています。

みなさんの役割

- PPGビジネス目的でPPG資産を使用すること。個人的な利得あるいはPPG以外の人の利益のために使用しないこと。
- 違法、性的に露骨で卑猥なものや、不適切なものにアクセスしたり、複製、表示、流通、保管を目的としてPPG資産を使用しないこと。
- 該当地域の「出張および経費に関する方針 (Travel and Expense Policy)」を順守すること。PPG資金を適切に利用し、あらゆる関する詳細と有効な領収証と併せて正確な経費報告書を提出すること。
- こうした大切な会社資産の保護に関する詳細は、本規範の「[機密および非公開情報 \(Confidential and Non-public Information\)](#)」および「[知的財産 \(Intellectual Property\)](#)」のセクションをご覧ください。

PPGの資産を保護し、意図された方法で使用してください。

機密および非公開情報

私たちの基準

当社は、PPGの機密および非公開情報が会社と株主にもたらす価値を認識しています。従業員は、PPG社内外の不正な開示や使用から機密情報と非公開情報を保護して制御する責任を負います。

知的財産（IP）は特定の法によって保護されている特殊な種類の「NPI（非公開情報）」です。詳細は、本規範の「[知的財産 \(Intellectual Property\)](#)」セクションをご覧ください。

Q. 自宅からPPGプロジェクトの仕事をしたしたいと思います。私がPPGデータにアクセスするための最良の方法とは何ですか？

A. 自宅や遠隔地から業務に携わる際、PPGデータにアクセスする最良の手段はPPGノートブックあるいは[遠隔アクセス](#)を使って自宅や非PPGパソコンからPPGにログインすることです。

データをUSBデバイス（フラッシュドライブ等の取り外し可能なストレージ装置）にコピーして非PPGパソコン上で使用しないでください。

PPG Eメールを使ってデータを個人のメールに送信しないでください

Q. PPG経営陣と思われる相手から、早急に取引を行ってデータを送信するよう要求する緊急のメールを職場で受け取りました。正当な要求かどうか確信が持てません。どうすべきでしょうか？

A. PPGの経営陣がメールで急いでデータの送信や取引の完了を要求するのは尋常ではないと考えられます。あなたの上司や要求を検証することのできる組織内の誰かしらに相談するか、送信者に連絡して有効かどうかを確認したうえで要求された行動に取り掛かるようにしてください。

よくある質問

誰しものが知っておくべきこと（What Everyone Should Know）

非公開情報の事例には以下に関連する情報が含まれます：

- 従業員
- 発明
- 契約
- 戦略や事業計画
- 新製品発表
- 合併と買収
- 製法と仕様
- 価格設定、製品コスト、財務データ

PPGの事業上の通信は全て、会社支給のリソースまたは会社承認の通信リソースを介して行われるものとします。

みなさんの役割

- PPG内部者であっても、合法的なビジネス目的で必要とする許可された人だけにPPGの個人情報へのアクセスを限定すること。
- 当社の記録管理方針に従って情報を保持あるいは廃棄すること。
- ビジネスを行う環境に注意を配ること。公の場での話し合いをするのを避けたり、公共の目にさらされたり公にアクセスできる形で書類や電子文書を扱わず、当社の情報を保護すること。
- 第三者とPPG情報を共有する前に、該当地域または事業部の法律顧問とともに、機密保持契約を結ぶなどして、適切な使用を徹底すること。
- PPGの情報技術方針の全てを順守するように細心の注意を払ってください。

職務において、PPGの機密および非公開情報へのアクセスする必要がある場合、不正な開示から情報を保護するのは各自の責任です。

私たちの基準

私たち従業員は、会社所有の知的財産（IP）を会社の最善の利益に叶うように保護、制御および使用する責任を負います。当社はPPG内外にて機密IPの不正開示を防ぐべく予防措置を講じています。

当社は他人のIP権を尊重し、従業員に他人の機密IPへのアクセスを要請したり指示する行為を容認しません。当社は適切な合意が策定されていない限り、第三者のIPの受諾、開示、使用を行いません。

- Q. とあるPPG従業員で、PPG製品に関する知的財産を認知している人が別会社に勤務する知人に非開示情報を披露しました。情報は機密であり、共有すべきでないことを私は知っています。どうすべきでしょうか？
- A. PPGの知的財産あるいは非開示情報をPPG社外の人と共有するのは適切ではなく、PPG方針に反します。PPG従業員として、あなたには懸念を速やかに報告する義務があります。本規範の「[懸念を報告する方法（How to Raise a Concern）](#)」をご確認ください。

- Q. 競合他社から最近PPGに入社した従業員から、競合他社が取り組んでいる新たな研究活動について知っていると言われました。あなたなら、どうしますか？
- A. PPGは前従業員を含め、第三者の情報を受諾しません。上司、該当地域の法律顧問またはIP法律顧問に、このことをその従業員に伝えてもらうよう依頼してください。

誰しもが知っておくべきこと（What Everyone Should Know）

知的財産（IP）には、通常営利上の価値があり、法に基づいて模倣、侵害、稀釈化から保護されている、知識、創造的なアイデア、ならびに特許、営業秘密、ノウハウ、商標、ブランド名称等のその他の無形資産が含まれます。

みなさんの役割

- ビジネスや職能のガイダンスに準じて全てのIP分類、保管、制御、共有を行うこと。機密IPへのアクセスは、合法的にそれを要する個人に、PPGの利益のためだけに付与されるように徹底すること。
- 許可される旨の合意のない限り、特に前雇用主といった第三者の機密もしくは非開示情報に係るアクセス、保持、共有、使用は行わないこと。
- 正当な内部の承認や、第三者との適切な機密保持契約を最初に取り交わすことなく、第三者にPPGの機密または非開示情報を供与しないこと。
- 他者の商標、著作権、許認可、その他の知的財産権を侵害するようなものの複製、表示、配信、保管を目的としてPPGリソースを使用しないこと。
- 部外者と一緒の時あるいは社外勤務の際はPPGの機密および非公開情報を保護すべく注意と配慮を講じること。
- 質問や懸念があれば、本規範の「[懸念を報告する方法（How to Raise a Concern）](#)」をご覧ください。

知的財産は法で守られている、重大な会社資産です。

インサイダー取引 - 株の売買

私たちの基準

一般開示されておらず、株価に影響を及ぼしうるような情報を得た場合の株式売買は控えること。このことはPPG株式およびサプライヤー、顧客、PPGの事業パートナー等の第三者の株式にも適用されます。

個人の経済的な利益やその他の利得目的で、重要な非公開情報を利用したり他人と共有するのは、PPGのインサイダー取引方針に違反し、法にも違反する恐れがあります。私たちは、各自が、PPGの非公開情報にアクセスする際、倫理および法的義務を順守することに努めるべきです。

Q. 「重要な非公開情報」とは？

A. 「非公開情報」とは、公開されていないPPGまたはその他の会社に関して、職務上認識するかもしれない情報を指します。「非公開情報」は、合理的な投資家が証券の購入、保持、売却の意思決定において重要であると考える場合、あるいは公開することが会社の株価に影響を及ぼす可能性がある場合に「重要」と見なされます。

重要な非公開情報であると考えられる情報の種別には以下が含まれます：

- 財務見直し
- 収益情報
- 配当の変更
- 提案された、あるいは予定された買収/事業部売却
- 株式再購入計画の変更
- 新規株式や債券の発行
- 戦略計画
- 規制上の措置
- 上級経営陣の変更
- 製品の発表またはリコール

非公開情報が重要かどうかを決定するのは必ずしも明快ではなく、事実や状況に左右されます。現地のPPG、または事業部の顧問弁護士の指示を仰ぎましょう。

よくある質問

誰しものが知っておくべきこと (What Everyone Should Know)

何か重要な非公開情報かを決めるのは判断の問題です。一般的に、特定の株式の売買を行う投資家にとって重要だと考えられるような情報は重要とされます。

みなさんの役割

- 経済的、またはその他の個人利得目的で重要な非公開情報を開示しないでください。
- 重要な非公開情報を知りながら、直接的または家族、その他の人や組織を通じて、PPG や他の会社の（株式、債券、オプション等の）証券の売買を行わないこと。
- 会社についての重要な非公開情報を知りながら、PPGを含めた会社の証券の売買を他人に薦めないこと。
- PPGのビジネス活動が必要であったり、適切な（サプライヤーとの非開示契約等の）制御措置が設けられている際以外は、重要な非公開情報を開示しないこと。
- 四半期の収益等の重要な発表内容を知っている場合にはPPG証券の取引を控えること。
- あなたがPPGに雇用されている際、ビジネス案件についてPPG社外の独立コンサルタントや専門家として働かないこと。
- 重要な非公開情報が不適切に開示されたことを認識したら速やかに報告すること。

PPGの従業員は、個人の利益のために重要な非公開情報を使用あるいは開示することが禁じられています。

事業および財務記録

私たちの基準

全てのPPGの営利および財務情報と記録を正確に、時宜に即して作成することは、当社が倫理的に誠実性をもって事業を遂行するという信念を表すものです。このことはPPGの評判や信頼性を反映し、PPGが法務や規制上の義務を満たすのを確実にします。当社はPPGの事業活動を完全かつ正確に反映するPPG業務、財務記録のみを制作することに努めており、それらは一般に普及する会計原則、基準、PPG方針、会計と財務報告についての規制に則ったものです。

- Q.** 製造工場の拡張にあたって2つの別個のACT（資本取引認可）が承認されました。双方の拡張は同一のマネージャーの監督下にありました。全ての請求金額が各ACTに請求された後、一つのプロジェクトが承認された資本金額未満で完了したのですが、もう一方のプロジェクトは承認された資本金額を超過しました。総計すると、2つのプロジェクトの実質の支出は、資本総額を下回ることから、そのマネージャーは予算超過のACTから一部金額を予算未満のACTに振り分けました。これは正しい行為ですか？
- A.** いいえ。財務取引は全て実際のビジネス取引を反映すべく正確に記録されるべきです。1つのプロジェクトが予算未満でもう一方が予算超過というのは、1つの工場拡張にかかる費用がPPGの財務記録においては見積が低く、もう一方では過大に見積もられていることとなります。

誰しものが知っておくべきこと（What Everyone Should Know）

正確で完全な事業や財務上の記録を徹底するのは各従業員の責任です。

全ての財務取引（例：資金、支払、経費報告書、支出）およびその他の明細（例：製品テスト、従業員パフォーマンス）は正確に記録され、目的を明確かつ正確に示す記録文書を添えるべきです。

PPGは適切な内部会計管理および正確な財務等の事業記録の保守管理をすることが法的に求められています。

みなさんの役割

- 適切に取引やイベントを反映する適切な内部統制を備えた効率的で効果的なプロセスを開発して保守し、不適切な取引を防止または検出する。
- 完全で、正確で、時宜に即した事業と財務の記録を開発し、保守管理すること。保持と廃棄の時期についての意思決定に際してはPPGの方針と手順に従うこと。
- 出張や経費の方針およびその他の既定のあらゆる会計方針を順守すること。
- 疑わしい、もしくは根本的なパフォーマンスに適合しないと思われる財務成果、審査や承認プロセスを迂回しようとする行為や、実態や取引の報告についての不完全で誤解を招くような通信といった、PPGの価値に合わないものや社の評判には相応しくない行動、取引、会計、報告を認識する場合には懸念を提起すること。

当社は記録、会計、通信、意思決定において誠実で、完全で、正確であることを心掛けるべきです。

倫理コンプライアンス部門 (Ethics and Compliance Office)

「倫理コンプライアンス部門 (Ethics and Compliance Office)」では、「規範」やPPG方針についての疑問の解決、あるいは潜在的な「規範」の違反についての懸念事項の相談に対応しています。

「倫理コンプライアンス部門 (Ethics and Compliance Office)」への連絡法：

- 「PPG ヘルプライン (Helpline)」 - あなたの言葉で機密、および匿名で報告を行うには、「[倫理ヘルプライン \(Ethics Helpline\)](#)」で該当国の連絡先を調べるか、オンラインで報告を行ってください。

電話：+1-720-514-4400 (該当国が「倫理ヘルプライン (Ethics Helpline)」一覧にない場合)

電話：+1-800-461-9330 (米国とカナダ：英語)

- Eメール：chiefcomplianceofficer@ppg.com

- Eメール：[「専門家に見る \(Ask the Experts\)」](#)

- ファックス：+1-412-434-4292 (米国)

- 郵送：PPG Chief Compliance Officer
PPG
One PPG Place
Pittsburgh, PA 15272 USA

本規範のリンクの完全ウェブアドレス

「[反トラスト/競争法 \(Antitrust / Competition Law\)](#)」ウェブサイト
na.web.ppg.com/sites/corplaw/en/antitrust/Pages/default.aspx

「[専門家に見る \(Ask the Experts\)](#)」
dl-ethicsquestions@ppg.com

「[機密データ取り扱い方針 \(Confidential Data Handling Policy\)](#)」
corporate.ppg.com/faq-en (「[データプライバシー方針](#)」セクション)

「[管理者マニュアル \(Controller's Manual\)](#)」
na.web.ppg.com/sites/globalfinance/policies/Pages/Controllers-Manual.aspx

「[国際腐敗防止方針 \(Global Anti-corruption Policy\)](#)」
na.web.ppg.com/sites/corplaw/en/Pages/Anti-CorruptionFCPA.aspx

「[国際慈善団体への寄付 \(Global Charitable Contributions\)](#)」
na.web.ppg.com/sites/corplaw/en/Pages/Charitable-Contributions.aspx

「[国際倫理コンプライアンス \(Global Ethics and Compliance\)](#)」ウェブサイト
na.web.ppg.com/sites/ethics/en/Pages/default.aspx

よくある質問 - 「[国際倫理規範補足 \(Global Code of Ethics Supplement\)](#)」
corporate.ppg.com/faq-en (社外利用可)

「[国際/米国輸出コンプライアンス \(Global / U.S. Export Compliance\)](#)」ウェブサイト
na.web.ppg.com/sites/purch/coll/expcomp/default.aspx

「[私たちの価値観 \(Our Values\)](#)」
vision.ppg.com (社外利用可)

「[PPGの地域との関わり \(Community Engagement\)](#)」
ppgcommunities.com (社外利用可)

「[PPG倫理ヘルプライン \(Ethics Helpline\)](#)」
ppgethics.com (社外利用可)

PPGの「[外部広報に関する方針 \(External Communications Policy\)](#)」
corporate.ppg.com/externalcommunicationpolicy

PPGの「[持続可能性報告書 \(Sustainability Report\)](#)」
sustainability.ppg.com/Home.aspx (社外利用可)

「[米国公共セクター \(政府\) 職員に対する贈答、食事、接待の供与 \(Providing Gifts, Meals, and Entertainment to U.S. Public Sector \(Government\) Employees\)](#)」
corporate.ppg.com/faq-en (「[贈答、接待、食事 \(Gifts, Entertainment, Meals\)](#)」セクション参照)

「[遠隔アクセス \(Remote Access\)](#)」
ra.ppg.com

「[ソーシャルメディアに関する方針 \(Social Media Policy\)](#)」
corporate.ppg.com/faq-en (「[外部当事者とのコミュニケーション \(Communicating with External Parties\)](#)」セクション参照)

「[事業者および専門団体/協会ガイドライン \(Trade and Professional Association Guidance\)](#)」
na.web.ppg.com/sites/ethics/en/policies/Pages/default.aspx

PPGの「倫理ヘルプライン (Ethics Helpline)」は「Convercent」によって提供されています。

年中無休で24時間体制の「倫理ヘルプライン (Ethics Helpline)」では、各従業員が安心して容易に、報復を恐れることなく問題や懸念を報告することができます。ppgethics.com (社外利用可) を使って、オンライン報告を行うか、該当国の連絡先を確認してあなたの母国語を話すオペレータに報告してください。利用可能な電話番号が以下に記載されています。

ppgethics.comにて確認できない国については、+1-720-514-4400にご連絡ください (コレクトコールまたは料金受信側払い)。オペレータの助けが必要となる場合は、地域料金が適用されることがあります。

「ヘルプライン (Helpline)」にご連絡の際は、PPG関連の報告を行う旨を必ずお伝えください。

国	無料通話番号
アイルランド (英語)	00-800-1777-9999
アラブ首長国連邦	8000-3570-3169
アルゼンチン	0800-333-0095
アルメニア	+374-60462654
イスラエル	00-800-1777-9999
イタリア	00-800-1777-9999
インド	000-800-100-4175
インドネシア	001-803-015-203-5129
インドネシア (ジャカルタ)	+62-21-297-589-86
ウクライナ	0-800-501134
エジプト	0800-000-0413
オーストラリア	1-800-763-983
オランダ	00-800-1777-9999
カナダ (フランス語)	1-800-235-6302
カナダ (英語)	1-800-461-9330
ギリシャ	00800-1809-202-5606
グアテマラ	+502-23784832
コスタリカ	+506-4000-3876
コロンビア	57-13816523
サウジアラビア	+966-811-1072514
ジョージア	+995-706-777493
シンガポール	800-852-3912
ジンバブエ	+263-86-4404-1046

国	無料通話番号
スイス (リヒテンシュタイン含む)	00-800-1777-9999
スウェーデン	00-800-1777-9999
スペイン	00-800-1777-9999
スリランカ (コロンボ都市圏外)	011-247-2494
スリランカ (コロンボ都市圏内)	247-2494
タイ	011-800-1777-9999
チェコ共和国	800-701-383
チリ	1230-020-3559
デンマーク	00-800-1777-9999
ドイツ	00-800-1777-9999
トルコ	00-800-113-0803
ナイジェリア	070-80601844
ニカラグア	011-800-222-5602
ニュージーランド	0800-002341
ノルウェー	00-800-1777-9999
パナマ	001-800-204-9188
ハンガリー	00-800-1777-9999
フィリピン	00-800-1777-9999
フィンランド	0800-07-635
ブラジル	0021-800-1777-9999
ブラジル (リオデジャネイロ)	+55-2120181111

国	無料通話番号
フランス (アンドラ、コルシカ、モナコを含む)	00-800-1777-9999
ベトナム	122-80-390
ベネズエラ	0800-102-9423
ベネズエラ (カラカス)	+58-212-7820-2174
ベルギー (オランダ語、フランス語)	0800-260-39
ポーランド	00-800-141-0213
ポルトガル	00-800-1777-9999
マレーシア	00-800-1777-9999
メキシコ	001-866-376-0139
ルクセンブルク	00-800-1777-9999
ロシア	8-800-100-9615
英国 (イギリス、スコットランド、北アイルランド、ウェールズ)	00-800-1777-9999
香港	001-800-1777-9999
台湾	00-800-1777-9999
大韓民国 (韓国)	080-808-0574
中国	00-400-120-3062
南アフリカ	+27-105004106
日本	0800-170-5621
米国とカナダ (米領バージン諸島、プエルトリコ、グアムを含む)	1-800-461-9330

PPGロゴは登録商標であり、私たちは世界を保護し、美しくします」 PPG Industries Ohio, Inc. の登録商標です。
©2016 PPG Industries, Inc. 禁無断転載。 12/16

PPG One PPG Place, Pittsburgh, PA 15272 412.434.3131 ppg.com



We protect and beautify the world™